

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 19 日

評価対象事業		評価者	小宮 純		
健福-18	重点事業	高齢者在宅福祉事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	高齢者に対し、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。
効果	高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者世帯等に緊急通報装置の貸出しを行った。 寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。 成年後見制度に関する相談、普及啓発等を行った。 低所得の高齢者に対する成年後見申立に係る費用の一部助成は、対象者がいなかったため、実施しなかった。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	177,243人	176,869人	176,869人	人 口	176,466人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯		
運営資源状況	事業の対象者数				事業の対象者数			
	決算値(千円)	21,619	20,847	20,847	当初予算(千円)	22,562		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	64	34	34	その他	245		
	一般財源	21,555	20,813	20,813	一般財源	22,317		
事業経費運営	人員配置数	2.3	2.3	2.3	人員配置数	2.5		
	人件費(千円)	18,000	17,987	17,987	人件費(千円)	19,793		
	総事業費(千円)	39,619	38,834	38,834	総事業費(千円)	42,355		
	市民1人当りの経費(円)	224	220	220	市民1人当りの経費(円)	240		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	高齢者の在宅生活を支え、地域で見守る事業を行うことは必要である。また、成年後見制度の利用支援についても引き続き取り組んでいく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	緊急時にコールセンターが24時間対応する緊急通報装置の貸出し事業は、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の安心した在宅生活を支援するものである。また、成年後見センター運営事業において、成年後見制度の理解や利用促進のために、窓口や電話での成年後見制度の説明や、専門家による専門相談、普及啓発のための講演会などを行った。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	市民後見人の安定した活躍を維持するために、引き続き鎌倉市社会福祉協議の法人後見事業開始を支援する必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	市民後見人が活躍できるよう、鎌倉市社会福祉協議会による法人後見事業の立ち上げの支援を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	法人後見事業の安定した活動のため、引き続き鎌倉市社会福祉協議会を支援し、市民後見人の活用についても連携して取り組む必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	緊急通報装置システム貸出し事業の実施(H29.6.1調査)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市		
他市実績	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣他市においても類似のサービスを行っており、市民サービスのひとつとして引き続き事業を行う。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	一人暮らし等の高齢者世帯への緊急通報装置の貸出し	単位	人	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
実利用者数の推移の把握	目標値	/	/	/	535		
	実績値	569	534	515			
	達成率	/	/	/			
指標の内容	寝たきり等の高齢者への訪問による理美容サービス	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
利用実人数の推移の把握	目標値	/	/	/	20		
	実績値	14	18	17			
	達成率	/	/	/			
指標の内容	成年後見制度の市長申立て	単位	件	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市長申立件数の推移の把握	目標値	/	/	/			
	実績値	11	2	6			
	達成率	/	/	/			
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	緊急通報システムの利用者が減少傾向にあるが、当該システムを必要とする方が確実に利用できるよう、地域包括支援センター、民生委員等と連携して引き続きサービスの紹介を行っていく必要がある。						